



パワー半導体向けドライ超音波ユニット

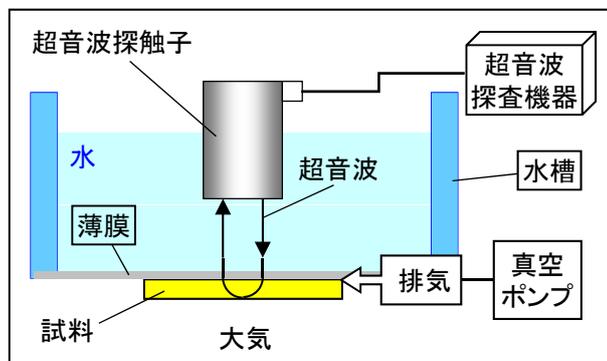
水に濡らさずパワー半導体内部の高分解能超音波映像探査が可能になります。

濡らさず内部を映像化！

超音波集束ビームを用いてパワー半導体内部を高分解能映像化するには、水などの液体にパワー半導体を浸漬する必要があります。しかし、超音波探査映像装置に当ユニットを追加することにより、パワー半導体を濡らすことなくドライ状態でパワー半導体内部の映像化を行うことが可能となります。

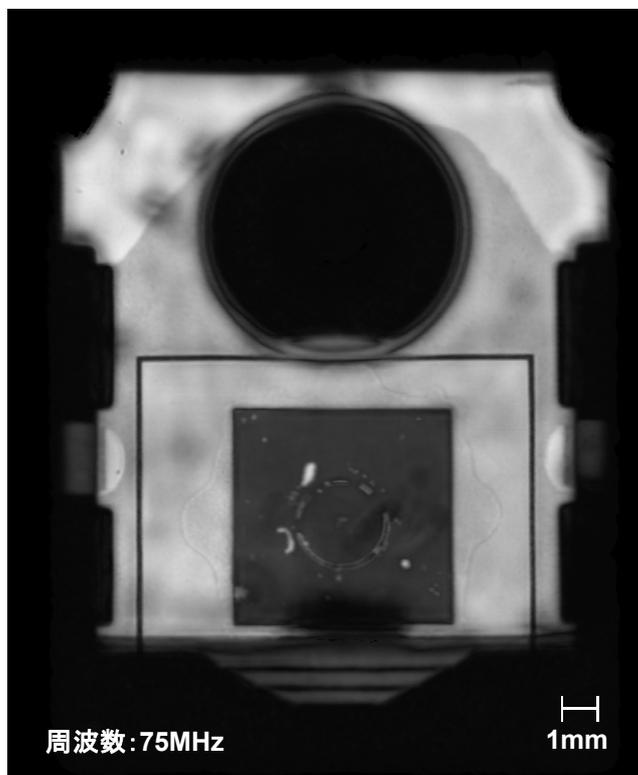
原理

水槽底面に配した薄膜を真空吸引により試料に密着させ、高効率超音波伝達を可能にします。



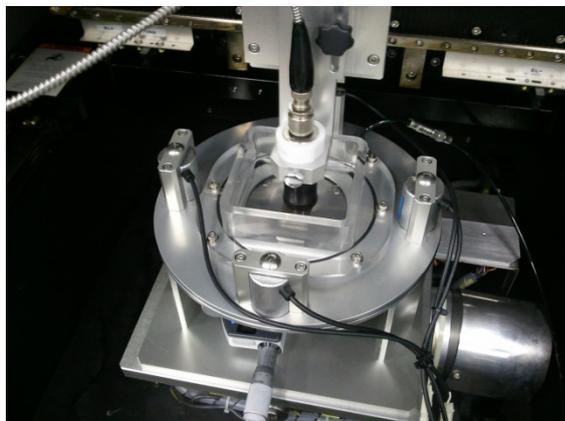
パワー半導体内部の映像化例

- サンプル: パワーMOS FET
- 日立パワーソリューションズ殿製超音波映像装置 FineSAT使用



ドライ超音波ユニット

- 構成: 薄膜、水槽、真空吸引部、給排水ポンプ (超音波探査機器、探触子は付属していません。)
- オプション: 試料位置調整台、超音波探査映像装置
- 映像化可能面積: 最大φ350mm



日立パワーソリューションズ殿製超音波探査装置 Hye-Focusへの装着例

ユニットの販売形態

超音波探査映像装置をお持ちのお客様には、ドライ超音波ユニットのみの販売が可能です。

ユニットに装着可能な超音波探査映像装置については、ご相談ください。